

2009年 四旬節愛の献金

総額 6,682,612円

(6月30日現在)

皆さまのご支援、ご協力に心から感謝申し上げます。

カリタスジャパン長崎支部

発行所 カトリック長崎大司教区 広報委員会
 発行人 中田 輝 次
 〒852-8113 長崎市上野町10-34
 カトリックセンター内
 TEL 095 843 8869 FAX 095 843 8417
 郵便振替番号 018 80-5-2699
 カトリック長崎大司教区ホームページ
 http://www.nagasaki.catholic.jp
 印刷所 株式会社 藤木博英社
 〒850-0852 長崎市万屋町5-13
 TEL 095 821 2146 FAX 095 821 2148



8月・教皇さまの
意図のために
祈りましょう

「パウロ年」閉年 ミサで1年の恵みに感謝

6月28日、浦上教会に「パウロ年」の閉年ミサをささげるため多くの司祭、修道者、信徒が集まつた。ミサの前には、教区内でのパウロ年の取り組みも紹介された。

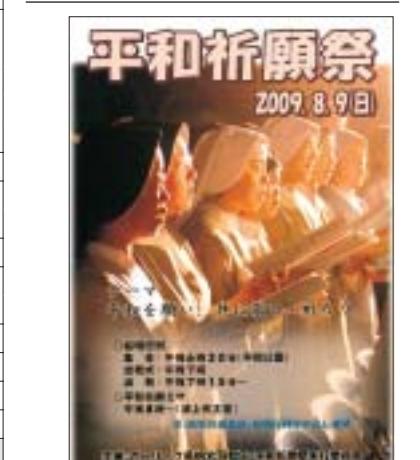
188福者の日に青年のミサ

部司祭と187殉教者」記念日の7月1日、教区内の青年らが浦上教会聖堂に集まつた。これは、昨年11月24日の188殉教者列福式後初めて迎える記念日の意義を深めるため、



福者ペトロ岐嶋の記念日には、青年自らが企画したものの。参加者は列福式の記録ビデオを観賞し、式前後の気持ちの変化などについて神父らも交え分かち合つた(写真)。続くミサの中で山村憲一神父は「わたしたちが集まる目的、信仰を生きる意味は何なのか。それ

分かち合いとミサをさげようと青年自らが企画したものの。参加者は列福式の記録ビデオを観賞し、式前後の気持ちの変化などについて神父らも交え分かち合つた(写真)。それ



平和祈願祭 8月9日
平和を願い、
共に歌い・祈ろう。

たいまつ行列(※雨天時は中止)
集合:午後6時30分(平和公園)
出発:午後7時15分~
平和祈願ミサ
開始:午後8時~(浦上教会)
主催:カトリック長崎大司教区・
平和祈願祭実行委員会

年となるよう願つて、聖なるための「靈的向上」の司祭たちの役務がよりよく果たされられる。教皇は、「キリストの忠実、司祭の忠実」を司祭の開始を告げられた。19日までの1年間にわたり、「司祭年」を司祭が開年ミサを執り行つた。司教の主司式で、ローマ司教団が共同司式で「司祭」の開年ミサを執り行つた。司教と司祭は、このミサのために準備し、司祭職奉獻の約束の更新が、岡田大司教が最後に派遣の祝福でミサを締めくくつた。



日本カトリック司教協議会による「司祭年」開年ミサ
「教会の祈り」(晩課)に決意を今春公表され、2010年6月50周年の機会に、今年の司祭、聖ヨハネ・マリア・ビアンネ・アルスの司祭、聖イク・ト16世は、司牧者として司教の模範を示した「アルスの司祭」、聖

高見大司教と40人余の司祭が参加した。司祭は、「司祭年」開年ミサは、高見三明大司教はじめ40人余の司祭が参加して行われた。この日開年ミサには、「パウロの手紙の通読、パウロの生涯をまとめたDVD学習など、聖パウロの宣教への熱意をさまざまな形で学んだことが発表された。

司祭は、「司祭年」開年ミサは、高見三明大司教はじめ40人余の司祭が参加して行われた。この日開年ミサには、「パウロの手紙の通読、パウロの生涯をまとめたDVD学習など、聖パウロの宣教への熱意をさまざまな形で学んだことが発表された。

司祭は、「司祭年」開年ミサは、高見三明大司教はじめ40人余の司祭が参加して行われた。この日開年ミサには、「パウロの手紙の通読、パウロの生涯をまとめたDVD学習など、聖パウロの宣教への熱意をさまざまな形で学んだことが発表された。

司祭は、「司祭年」開年ミサは、高見三明大司教はじめ40人余の司祭が参加して行われた。この日開年ミサには、「パウロの手紙の通読、パウロの生涯をまとめたDVD学習など、聖パウロの宣教への熱意をさまざまな形で学んだことが発表された。

司祭は、「司祭年」開年ミサは、高見三明大司教はじめ40人余の司祭が参加して行われた。この日開年ミサには、「パウロの手紙の通読、パウロの生涯をまとめたDVD学習など、聖パウロの宣教への熱意をさまざまな形で学んだことが発表された。

司祭は、「司祭年」開年ミサは、高見三明大司教はじめ40人余の司祭が参加して行われた。この日開年ミサには、「パウロの手紙の通読、パウロの生涯をまとめたDVD学習など、聖パウロの宣教への熱意をさまざまな形で学んだことが発表された。

司祭は、「司祭年」開年ミサは、高見三明大司教はじめ40人余の司祭が参加して行われた。この日開年ミサには、「パウロの手紙の通読、パウロの生涯をまとめたDVD学習など、聖パウロの宣教への熱意をさまざまな形で学んだことが発表された。

司祭は、「司祭年」開年ミサは、高見三明大司教はじめ40人余の司祭が参加して行われた。この日開年ミサには、「パウロの手紙の通読、パウロの生涯をまとめたDVD学習など、聖パウロの宣教への熱意をさまざまな形で学んだことが発表された。

司祭は、「司祭年」開年ミサは、高見三明大司教はじめ40人余の司祭が参加して行われた。この日開年ミサには、「パウロの手紙の通読、パウロの生涯をまとめたDVD学習など、聖パウロの宣教への熱意をさまざまな形で学んだことが発表された。



2008年度決算に関する報告①

大司教区の2008年度の収支決算書が6月8日、教区顧問会で承認された。

今年度から、本部に関する収支決算書(「よきおとずれ」本号)と各小教区に関する決算書(「よきおとずれ」来月号)とを教区の信徒の皆さまにお知らせすることになった。これによって、大司教区としての正式な収支決算書報告の形が整つた。

教区本部に関する収支決算書で、昨年度との大きな違いは、まず「社会保険」「雇用保険」への加入(2008年4月1日付)に伴い、勘定科目「小教区人件費」「小教区法定福利費」が増加し、収支決算書の総額が前年度対比で約2億円増加している。その他に関しては、昨年同様、単年度方式に基づく決算書となつていて、大司教区としての正式な収支決算書報告の形が整つた。

センター事業部の収支決算書も掲載している。2008年度も、約1,240万円の借入となつた。4年連続の赤字となり、黒字転換は果たせなかつた。9月から、新しい体制にて、立て直しを計つていく。

カトリックセンター 事業部門

収入の部

科目	決算額
旅館売上	33,864,070
(宿泊料)	(23,811,900)
(会議室)	(2,240,820)
(食堂)	(7,811,350)
雑収入	1,279,883
立替金	12,406,411
合計	47,550,364

支出の部

科目	決算額
給料及手当	21,946,520
福利厚生費	3,935,615
什器備品	1,431,150
消耗品費	2,296,412
修繕費	355,050
旅費交通費	971,416
通信費	471,466
水道光熱費	2,757,448
下水使用料	291,571
燃料費	903,000
広告宣伝費	360,205
租税公課	2,543,051
交際接待費	81,895
保健衛生費	1,111,008
雑費	2,263,289
原材料仕入代	4,539,428
保険・会費	385,940
消費税	905,900
工事費	0
立替金支出	0
合計	47,550,364

長崎大司教区

収入の部

科目	本年度決算	(%)
1.経常収入の部	503,806,752	81.3
教区費	144,764,557	23.4
信徒	129,234,557	
司祭	11,080,000	
修道会	4,450,000	
特定献金	38,345,817	6.2
神学生養成援助費	13,829,317	
広報の日献金	2,986,566	
聖ペトロ献金	8,189,494	
難民移住移動者献金	2,900,332	
世界宣教献金	2,855,520	
宣教地司祭育成献金	3,023,103	
児童福祉献金	4,561,485	
特別献金	57,574,013	9.3
寄付金	29,124,385	
献金收入(本部関係)	24,563,628	
ミサ献金	1,796,000	
分担金	8,702,741	1.4
小神学院(他教区)	8,702,741	
コレジオ(他教区)	0	
その他	244,771,537	39.5
本部・諸委員会収入	4,202,257	
保険金收入	1,200,000	
受取利息	116,219	
雑収入	11,397,668	
小教区拠出金	227,855,393	
前年度越額	9,648,087	1.6
前年度越額	9,648,087	
2.財務収入の部	116,161,839	18.7
固定資産収入	3,150,000	0.5
受取家賃	3,150,000	
その他の財務収入	105,000,000	16.9
内部貸付金回収	15,000,000	
立替金返済収入	0	
国宝保存・財務資金	90,000,000	
基金取崩収入	0	

支出の部

科目	本年度決算	(%)
1.経常支出の部	554,049,444	89.3
祭儀費	3,426,467	0.6
祭儀費	3,426,467	
諸委員会活動費	17,993,038	2.9
宣教委員会	1,335,132	
生涯養成委員会	3,650,000	
信仰教育委員会	2,400,000	
典礼委員会	1,500,000	
広報委員会	5,428,818	
家庭委員会	162,230	
召命委員会	800,000	
青少年委員会	1,500,000	
福祉委員会	461,858	
工・諸宗教委員会	755,000	
宗教活動費	7,790,000	1.3
教区評議会	4,440,000	
法務事務所	3,350,000	
司祭養成費	112,598,098	18.2
大神学校	39,726,275	
コレジオ	27,719,461	
小神学校	45,152,362	
負担金	25,955,908	4.2
中央協議会送金	16,760,434	
使徒座送金	8,595,474	
心のともしび	600,000	
司祭生涯養成費	6,406,784	1.0
黙想研修会	2,406,784	
司祭職の日	0	

教 区 連 合 婦 人 会 總 會

5月30～31日、教区連合婦人会(指導司祭山内実師)第16期総会がカト



リックセンターで開かれた。30日総会では次の通り新役員が任命された。
(一)内は所属と各地区連合婦人会における役職名。

会長 (水主町、北地区会長) 納富 美紀
副会長 山口 亮子 (中町、南地区会長) 田川 薫
同 川上ヒロ子 (浦上、中地区会長) 久松 千春
(宝亀、平戸地区会長) 浜田 利栄

理事 (日力連担当) 大石美代子 (中町、南地区会長) 同 川口真佐代 (浦頭、下五島地区会長) 同 田川 薫 (稻佐、中地区副会長) 同 久松 千春

理事 (曾根、上五島地区会長) (東長崎、北地区副会長) 同 小出レイ子 (飽の浦、南地区副会長) 同 横山ひとみ (東長崎) 横山ひとみ (東長崎)

書記 (曾根、上五島地区会長) (東長崎、北地区副会長) 同 川口真佐代 (浦頭、下五島地区会長) 同 小出レイ子 (飽の浦、南地区副会長) 同 田川 薫 (稻佐、中地区副会長) 同 久松 千春

聖フランシスコ病院創立60周年映画・講演会 (9月12日(土)午後2時から5時まで長崎カトリックセンター大ホールで開催する。映画「NAGA SAKI・1945」上映、ンゼラスの鐘」上映、聖フランシスコ病院地域連携科。締め切り9月1日) 9月12日(土)午後2時から5時まで長崎カトリックセンター大ホールで開催された。長崎教区が、指導司祭山内実師をはじめ山岡千代子会長ら約45人が参加した。

5月31日午前10時30分、本河内教会・聖母の騎士修道院主催のルドマツリが行われた。司式・末吉矢作神父。小神学生の侍者と可愛らしい花まき少女たちに伴われて、参道を登りながらロザリオを唱え、8人の共同司式司祭、約400人の参列者と共に、聖母をたたえ、世界の平和を願った。

ロザリオに引き続きさげられたミサは聖霊降臨の祭日の典礼で、末吉神父の説教でも《聖霊と聖母マリア》《聖霊と教會の愛と希望にあらためて触れるよい機会と》と題された。聖霊降臨の祭日の典礼で、末吉神父小島栄師を迎え、森の爽やかな風の中、野外ミサが行われた。本原教会の聖体行列は48年間続いている。

会」それぞれの密接な結びつきが重要であることが強調された。40年以上続く年2回の恒例行事、長崎市内の他福岡や熊本からも駆け付けた。参加記念品として、500ml入りペットボトルに詰めた本河内の水が配されていたが、自分で病人見舞い用と2本求めの人もいて、準備した本数では足りなかつた。

詳細II列聖列福特別委員会 TEL 03-5632-4445

口トマト・滞在6日間(出発日1/2/2/2)イタリーワーク週遊1日間(出発日1/2/2/2)阪急交通社東京団体支店 TEL 03-6745-7370

公聖パウロの「福音」開聖書講座 (生涯養成委員会)

6月11日、教区生涯養成委員会主催の公開聖書講座「聖パウロの福音」について」がカトリックセンターホールで開かれ、約150人が受講した。講師の高見三明大司教はパウロの福音について、



翌31日、9時から総会感謝のミサが行われ、その後、「パウロを学ぶ」講演会があつた(写真)。講師を務めた鈴木信一神父(聖パウロ修道会)は、興味深く分かりやすい内容に加えてゆつたりとした独特的の語り口で会場を沸かせ、聴講者を話の中にぐいぐい引き込んだ。

その中で「神の圧倒的な力を体験したパウロは、受け継いだ伝統に独自の体験を加えてキリストを証しした」と説き、現代世界が耳を傾けるような

平戸地区パウロ年活動「聖パウロの歩み」講演

平戸地区では6月7日、田平教会信徒会館にて聖パウロ修道会の夫津木昇歩みについて講演があ

り約140人が集まつた。知つていてるようでは、知らないパウロの人生。復活

パウロ会の協力を得て、聖パウロに関する書物や命や結婚、子育てや介護に関する書物など、また、教会関係の出版物、信心道具などの販売を行つた。講話後、パウロの書物を

は買い求める人と対話し、自分と向き合い、神と出直す研修となつた。そして、教育の出発点・原点は親であること。互いに助け支え合う夫婦関係の大切さと同様に、学校・地域社会の中でも、信頼

は買い求めるものとキリストと教会が提供するものとの間に交わりが通じた。会場の表玄関では、青年たちが女子

で、その足跡をたどることができた。聖パウロを通じて新たに集まつた青年もいて、販売に携わつた青年たち

は買い求める人と対話し、自分と向き合い、神と出直す研修となつた。そして、教育の出発点・原点は親であること。互いに助け支え合う夫婦関係の大切さと同様に、学校・地域社会の中でも、信頼

「一致と交わり」への挑戦

園長総会で宮原司教講話

5月27日、カトリック長崎大司教区幼稚園協会の今年度第1回園長総会がカトリックセンターで開かれ20余人が集まつた。研修会では「子供たちの健やかな成長を願つて」をテーマに、福岡教区の希薄化や個人主義が目立つ現代においてカトリックの精神、「一致



にしていくか」「本当の教育の在り方」を見つめ直す研修となつた。そして、教育の出発点・原点は親であること。互いに助け支え合う夫婦関係の大切さと同様に、学校・地域社会の中でも、信頼

として、教育の在り方を見つめ直す研修となつた。そして、教育の出発点・原点は親であること。互いに助け支え合う夫婦関係の大切さと同様に、学校・地域社会の中でも、信頼

として、教育の在り方を見つめ直す研修となつた。そして、教育の出発点・原点は親であること。互いに助け支え合う夫婦関係の大切さと同様に

